

**顧客本位の業務運営に関する取組状況（2021年3月末現在）**

◆背景

近年、当社は、既存主力事業である機関投資家向けビジネスに加え、長期資産形成に寄与することを目的とする個人投資家向けビジネス（以下「当ビジネス」）にも事業の幅を広げてまいりました。

当ビジネスにおいても、2017年12月に公表致しました『顧客本位の業務運営に関する取組方針』に沿った取り組みを実施してまいりましたが、その取り組みの定着状況を測る定量指標（KPI）を掲載させていただきます。

◆定量指標（KPI）

私たちが、個人投資家の皆様の大切な資産の運用を担うにあたり、重要と考えていることは、「長期資産形成に寄与すること」です。その定量指標（KPI）の一つとして、図表1のとおり公募投資信託の純資産総額におけるブルベアファンド（注1）及び毎月分配型ファンド（注2）、バランスファンド（注3）が占める比率の推移を開示致します。

注1：短期的スタンスで投資を行う顧客向けの投資信託。デリバティブを用いて、マーケットの動きに強く相関するよう、または逆の相関を持つように設計されています。

注2：複利効果が働きにくく、長期投資に適さない可能性があると考えられています。

注3：ひとつの資産に偏ることなく、異なる複数の資産や地域などにバランス良く投資する投資信託のことを指します。

◆図表1

